

「夢に挑む。」

TEAM TAKASE 2009全日本モトクロス選手権シリーズ参戦レポート 第9戦 中国大会

スポンサー様各位

TEAM TAKASE代表 田中教世

2009MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第9戦中国大会は、10月10～11日に広島県世羅郡世羅町のグリーンパーク弘楽園で開催されました。前回近畿大会から1カ月のインターバルを置いて再開したシリーズ戦。「グリーンクラブ TEAM TAKASE」からは、IA1クラスの田中教世、IA2クラスの加藤吏一と飯沼泰裕、IBクラスの倉田 翔の4名全員が出場しました。

会場のグリーンパーク弘楽園は、広島県のほぼ中央に位置するマウンテンコース。ハイスピードのアップダウンやビッグジャンプ、ロングフープスなどダイナミックなレイアウトが特徴のコースです。大会期間中は秋晴れの好天に恵まれ、入念なコース整備が行われたことから、予選・決勝を通じほぼベストの状態が保たれました。熱心なモトクロスファンが多い中国地方。関西、九州エリアからもアクセス可能な会場には、公式発表で10700人の観客が訪れました。また前回の名阪に続きチームの地元に近いこともあり、TEAM TAKASEサポーターの皆様やファンの皆様、スポンサー様にも大勢来ていただき、コースサイドからの声援や力強い応援に後押しされてレースに臨むことができました。

IA1クラスに参戦する田中教世は、カワサキワークスチーム「K.R.T.」のピンチヒッターとして、今大会もワークスマシンKX450F-SRで出場しました。ワークスマシンでの参戦は責任も重大ですが、ポテンシャルの高いマシンでレースに出場出来ること、開発に貢献できることを嬉しく思っています。チャンスをくれたカワサキに改めて感謝する次第です。

IA1クラスの田中は、グリッド決めの予選を4番手で通過。決勝第1ヒートは1周目を6番手でクリア。前半3番手までポジションを上げましたが、中盤ひとつポジションを下げ、表彰台にあと一步まで迫る4位でフィニッシュしました。第2ヒート、田中はトップで1コーナーをターンし、同じく好スタートを決めた成田 亮(ヤマハ)とスタートからトップ争いを展開。互いに何度もラインと順位を入れ換える激しいトップ争いを30分以上に渡って繰り返して、観客の視線を釘付けにした田中は、ラスト逆転優勝こそ逃したものの今季自己ベストとなる2位でチェッカーを受けました。

IA2クラスの加藤は、A組5位で予選通過を果し、決勝は激しいバトルの末に両ヒート8位でフィニッシュ。飯沼は予選A組13位で今季初めて予選通過を果し、決勝は入賞こそありませんでしたが、24-28位で両ヒート末走を果しました。

IBクラスの倉田は、IB2、IB Openとも予選通過を果し、IB2は19位、IB Openは15位で両クラス確実にポイントを獲得しました。

ポイントランキングでは、田中がIA1クラス6番手をキープ。IA2クラスの加藤は15番手。倉田はIB2クラスが24番手、IB Openクラスは13番手で両クラスとも一つ順位を上げました。

開幕直後の怪我で苦戦を強いられた田中もようやく本来の調子を取り戻し、また、チーム員もそれぞれ本来の実力を発揮できるようになってきました。全日本モトクロス選手権シリーズは、10月24-25日の最終戦MFJ GPを残すのみとなりますが、最後まで悔いの残らないレースが出来るようTEAM TAKASE一丸となって全力を尽くします。更なる期待と応援をお願いします。



IA1 #5 田中教世

やっと表彰台に上がる事が出来ました。

ヒート 2 はスタートからフィニッシュまで成田選手とのバトルになり、途中何度も気持ちが折れそうになったんですが、皆さんが沢山応援してくれて、その声援が凄く励みになり、最後まで踏ん張ることが出来ました。ほんの少しですが、応援してくださった皆さんやスポンサーさん、支えてくれたるサポーターの皆さんに恩返しできて良かったです。

残り一戦。表彰台に上がることは当然ですが、優勝出来るように頑張ります。

IA2 #555 加藤吏一

今大会も、たくさんの応援ありがとうございました。

両ヒートともスタートは出たんですが、トップスピードに付いて行けず、順位を上げることもなくゴールしました。

レースまでの調整、自身の体調、マシンの調子も良く、ベストの状態です。今大会に挑めたのですが、このような結果で終わってしまったと言うことは、自分自身のポテンシャルがまだまだ低いということです。

最終戦まであまり時間はありませんが、今まで通りやれる事を一生懸命やって、今年1番の走りができるようにします。次の SUGO も応援

をお願いします。

IA2 #82 飯沼泰裕

調子も良く今大会に挑むことが出来ました。予選は通過することが出来ました。しかし決勝は、満足できる結果を残すことが出来ませんでした。ただ、最後まで走り切ることが出来たので、それを次の最終戦に繋げて行きたいと思っています。

応援してくださった皆様ありがとうございました。

IB Open/IB2 #36 倉田 翔

IB2 はスタート 7～8 番手で、いつもよりは良いスタートが切れました。しかし、走行中肩が調子

悪くなり、ペースダウンし、結果19位で終わりました。

IB オープンは、肩の調子が悪かったので、テーピングを巻いて出ました。スタート 20 番くらい出て、ペースを掴んだので 8 番手まで上がりましたが、中盤に転倒してしまい、15 位でチェッカーをうけました。

全体を振り返ると、肩の怪我は自分のせいなので、言い訳しないようにテーピングして貰いましたが、今回は転倒という課題が克服出来ませんでした。最終戦は菅生なので、悔いが残らないよう、やれることをやり、精一杯頑張りますので、応援宜しくお願いします!!